

アットファーム株式会社・株式会社Cow's family (北海道野付郡別海町)

GLOBALG.A.P. MILK 2018年取得
JGAP 生乳、乳用牛、肉用牛 2019年取得

地域の概況等

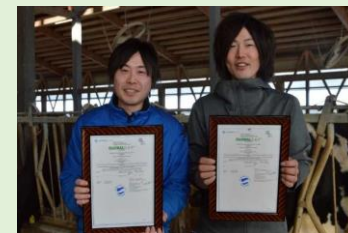
- 別海町は、大半が起伏の緩やかな丘陵地帯で、原野を切り拓いて造られた牧場が町域のほぼ全般に広がる町
- 総農家数722戸のうち乳用牛飼養戸数は688戸(2020年2月1日)であり、生乳生産量は全国1位

<アットファーム株式会社>

- 飼養頭数：650頭（うち搾乳頭数：300頭）
家族3名、スタッフ4名、計7名で運営

<株式会社Cow's family>

- 飼養頭数：280頭（うち搾乳頭数：140頭）
家族2名、スタッフ3名、計5名で運営



アットファーム(株) 田中代表(左)
(株) Cow's family 卯野代表(右)

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 次世代に残せる酪農経営の確立、自己の生産する生乳の高付加価値化、消費者に安全・安心を届けたいとの考えから、認証取得の取組を開始
 - 先進地視察、基準書翻訳・作成、予備審査及び改善行動を経てGLOBALG.A.P.認証を取得、その後、JGAP認証も取得
 - 認証取得に際しては、TMRセンター(牛の給食センター)、JA及び普及センター等の関係機関の協力を得た上での認証取得
- ⇒ 酪農経営体では日本初となるGLOBALG.A.P.の認証取得
によって後進への道筋を開く

▼GAPの継続に向けた取組

- 毎年のリスク評価表の見直しと、それに連動した各種作業マニュアルの改正を通じて、作業の効率化を推進
 - 毎日の全員によるミーティング及び毎月の従業員による自主ミーティングにての目標の設定・実施
- ⇒ 従業員のモチベーション向上や主体性の向上へつながる



来訪者用の着替え



農場・施設の区画を記した地図

▼GAPの取組と効果

【搾乳作業の改善の取組】

- 独自の搾乳マニュアルによる作業の平準化
- 外国人実習生向けマニュアルや掲示物による効果的な教育訓練
- 作業の省力化・効率化のため、乳頭洗浄機の導入
⇒ 搾乳作業時間の減少（7時間/日 → 6時間/日）
抗生物質の使用量減少（年間45%減少）

【搾乳以外の作業の改善の取組】

- 疾病記録や投薬記録の確認をその場でできるため、適期・適切な処置が可能
⇒ 疾病の早期発見、早期治療に結び付き、
 - 疾病による乳量の損失の減少
 - 疾病牛対応にかかる時間の削減



牧場内のルールや手順の明確化によって、従業員全員の負担が軽減された上、従業員全員による同レベルでの作業を実現している優良事例